

## 憂楽帳：おばちゃんの親切

毎日新聞 2013年05月17日 大阪夕刊

泥酔者。大股を広げるおじさん。イヤホンから大音響が漏れるお兄さん。乗り物で迷惑な人と隣り合わせた経験は誰でもあるだろうが、私はかなり高い確率でこんな人と遭遇しているのではと疑っている。私に引き寄せる何かがあるのか、他の席は空いているのになぜか隣に来たり、指定席で隣になったりする。

でも去年はこんなこともあった。満員電車の2人掛け席にいと隣が空いた。横に立っていた男性が座ろうとすると、「ごめん」と中高年の女性が後方からかばんをねじ込んできた。そこまでするのかとあっけにとられた。この人が隣？

女性はかばんを置いたまま消え、しばらくすると人垣から若い女性の手を引っ張ってきた。妊婦さんだった。かばんをどけ、「ここ座り」。えっ？ 後ろめたくなって私も席を譲ろうとした。すると、「ええ、ええ。私この人の連れでもないし、すぐに降りるから」と押し問答の末、固辞。見ず知らずの妊婦さんに席を確保してあげたとても親切な人だった。

「誤解してごめんなさい」。心の中でわび、礼を言う妊婦さんの隣で私も頭を下げた。【山本真也】